

放課後子ども教室NEWS

こちらの二次元コードから、閲覧・ダウンロードができます →



サツマイモ売り ～ げんき山 ～

10月17日(金)、南郷小学校区の子ども教室「げんき山」の様子取材しました。

この日は、子ども教室の活動で栽培したサツマイモを官公庁や企業、一般家庭を訪問しながら売り歩く活動を行っていました。「お芋はいりませんかー。」「これがおすすめですよー。」というお客さんの呼び込みから、「買ってくれてありがとうございます。」という感謝の言葉、「袋が破れやすいので、気を付けて持ってください。」などの相手を気遣う言葉から、多くの学びを得ていると感じました。



<子供の感想>

サツマイモを売る時間は短かったけれど、みんなで掘ったサツマイモをたくさんの人に買ってもらえてうれしかったです。



<子供の感想>

同級生と一緒に放課後に活動することができて楽しいです。下級生にもぎやかです。今までの活動では、ハンドベルの体験が一番の思い出です。

<子供の感想>

サツマイモを売るのに、初めて行った会社もありました。声をかけたりするのは緊張したけれど、いっぱい買ってもらえてうれしかったです。



<スタッフから>

小さいお子さんを連れてくるお母さんから年配の方まで、様々な年代の方がスタッフとなっているので、世代を超えた大きな家族のような子ども教室になっています。子供たちを本気で叱り、本気で可愛がるスタッフばかりで、雰囲気もとてもよいです。



当日は、グループでの活動でしたが、リーダー以外の役割(サブリーダー、お金係など)は、子供たち自身が話し合って決めます。ちなみに、リーダーは4年生で、5・6年生の子供たちはそのフォロー役です。また、売り上げの計算も子供たちです。サツマイモの金額は、意図的に子供たちが計算しにくい150円に設定しているということでした。

子供たちに何を学ばせ、どんな力を付けさせたいかという思いを基に、年間の活動につながりをもたせて内容が考えられており、とても感心させられました。

